

平成 30 年度米飯給食献立コンテスト応募用紙

(別紙様式2)

所属 日立市立櫛形小学校(十王調理場)氏名 塚田 瑞穂

1 献立写真またはイラスト トレーに配膳された一人分



2 献立のねらい

献立名	県産品使用時に工夫した点、PR
玄米ごはん	・青果物は何月に茨城県産を使用したかのデータを蓄積して、出回り時期に合わせた献立を作成している。
牛乳	・日立市は工業都市のため、農水産物の地場産品が限られているが、「日立市ベストセレクション」に選定されている食材を季節に合わせ、給食に取り入れている。
県産鮭のみぞれソースかけ	・主菜の県産鮭は、身の色が白く、あっさりした味のため、揚げることでコクをだし、大根おろしのみぞれソースをかけた。
日立市産さくらだこと 小松菜の粒マスタードあえ	・あえ物は、市産の「さくらだこ」を粒マスタードの風味で臭みを消し、さくらだこの歯ごたえ、うま味、色あいを児童・生徒に楽しんでもらうようにした。
茂宮白菜の具だくさん汁 (豆乳入り)	・豆乳でコクをだした実だくさん汁には、市産の茂宮白菜を中心に、県産の野菜を多く使っている。
りんご	

3 この献立を使用して学校行事、授業、特別活動、地域等と連携したところ

- ・ 鮭 : 4年生の総合的学習の時間（十王川での鮭）
櫛形小学校では、毎年4年生が十王川で採取された卵から鮭を育て、稚魚を元の川へ放流している。給食の献立も、自然の営みと食べ物の命について学ぶ教材になっている。
- ・ 旬の地場産物(県産・日立市産)： 給食時ワンポイント指導、給食放送資料・掲示物の作成